

第8回まちづくり市民会議議事録

- 日時 平成21年11月19日(木) 午後6時30分～午後8時
■場所 太田市役所10階 政策推進会議室
■出席者 西村会長、福田副会長、秋山委員、窪田委員、高倉委員、棚澤委員、徳永委員、奥川係長代理

(委員7名、市1名)

【概要】

1. テーマの検討について

- ・「観光資源の発掘・開発・創造」をテーマに提言書を作成する。
- ・前回の会議に引き続き、「観光資源の発掘・開発・創造」を議論していく上でのキーワードとカテゴリーを検討したが次のとおり決定した。

□変更前

●キーワード	●カテゴリー
①イベント	①文化遺産
②市民参加	②お祭り
③メディア	③産業(商・工・農、お土産)
④<経済効果>	④食文化
⑤環境(緑・水・エネルギー)	⑤歴史
⑥産業遺産	
⑦まちづくり(景観)	

□変更後(決定)



●キーワード
①イベント、市民参加、メディア
②産業(商業・工業・農業・お土産・食文化)
③歴史(産業遺産・文化遺産)
④環境(緑・水・エネルギー)

- ・上記を決定する上で配慮した点は次のとおり。
- ・キーワードとカテゴリーで分類すると複雑になるので、キーワードのみとした。
- ・イベント、市民参加、メディアは1つに括る。
- ・「経済効果」や「まちづくり(景観)」は常に意識するものであるため、議論する上で委員が意識していればテーマとして設ける必要はない。
- ・「産業遺産」と「文化遺産」は『歴史』で括る。
- ・「産業遺産」は『産業』のテーマとして位置づけることも考えられるが、意見を出す中で内容に応じて『産業』と『歴史』に必然的に分けられると思われるため、取りあえず『歴史』に位置づけておく。

- ・「お祭り」は『イベント』に、「食文化」は『産業』に含める。
- ・次回からは次のとおり会議を進める。
- ・決定したキーワードの①から④の順に議論を進める。
- ・1つのキーワードに2回の会議を充てるが、不足する場合は臨時に会議を開催することも考えられる。
- ・会議を効率的に進めるため、次回取り上げるテーマについて委員が事務局に事前にレポートを提出する。
- ・レポートの提出時期は会議開催日の概ね2週間前とし、事務局が提出されたレポートを取りまとめ、会議開催前に委員に郵送する。
- ・議論を効率的に進めるため、提言書の様式は予め決めておいた方が良い。
- ・第1期のまちづくり市民会議では、①現状認識と現状確認 ②問題点の認識・共有化 ③あるべき姿の模索 ④提言（改善策）の4項目で提言書を構成した。
- ・提言書で問題点を述べることは必要である。
- ・全般的な現状と問題点を述べて、4つのテーマに分けて改善策を考える方法もある。
- ・提言書の文章表現は観光振興をテーマにしていることから、第1期の提言書と比べて柔らかい表現にした方が良い。
- ・次回の会議で引き続き提言書の様式を検討する。

2. その他

- ・各委員は12月3日（木）までに「イベント、市民参加、メディア」をテーマにレポート（意見用紙）を作成し事務局へ提出する。
- ・次回の会議では提出されたレポートをもとに、「イベント、市民参加、メディア」を議論する。
- ・各委員は提言書の様式も検討しておく。

【次回の会議】

日時 12月17日（木） 午後6時30分～
場所 太田市役所10階 政策推進会議室